

施策のターゲット	施策展開のテーマ			
	交流・連携	情報発信	こども・親子	コミュニケーション
①まちづくり活動のリーダー（団体目線）	⑥市民と市職員の交流会の開催 ⑧声を集める	⑦市民が市に対する不満や悩みを伝える会の開催 ⑨まちづくり団体の交流会の開催	①市民のまちづくり活動の一覧を載せる ②まちづくり団体の活動を市広報に載せる	①ホームページ等でまちづくり活動についてのアンケートを実施 ②気軽にまちづくりに関する相談ができる公式ラインの開設
施策の方向性	⑨目安箱の設置	②共通の目標を持ったグループの洗い出し	③市民グループのイベントを市広報や防災無線でアピールする	③Web版のまちづくり掲示板を製作
専門知識等のさらなる充実、団体の運営、参加者や予備軍、未認識者を巻き込む方法の習得など	⑩SNSの活用	②まちづくり団体のマッチングイベントの開催	④学校にも情報提供する	
	⑪市民と市職員の交換日記	③他グループへの要望が出せるサイトの設置	⑤校区外の交流を増やす	
	⑭職員が研修を兼ねて地域に入る	⑤地域とまちづくり団体のコラボ	⑦地域自治協議会の活動紹介動画を作る	
	⑯普段と逆の状況となる、職員が市民に相談をするイベントの開催	⑥活動への参加や手伝いを募集		

↑

施策のターゲット	施策展開のテーマ			
	交流・連携	情報発信	こども・親子	コミュニケーション
②まちづくり活動の参加者（個人目線）	②行政でできないことや苦手なことを、地域や市民に知らせる ③参画に対してのイメージを変える、負担感を減らす	⑭職員が研修を兼ねて地域に入る ⑯普段と逆の状況となる、職員が市民に相談をするイベントの開催	①市民のまちづくり活動の一覧を載せる ②まちづくり団体の活動を市広報に載せる ③市民グループのイベントを市広報や防災無線でアピールする	④理想の西脇市を親子で考えるイベントの開催 ⑥子育て中（乳幼児）の人がどのように過ごしているのかを参考にする ③Web版のまちづくり掲示板を製作
施策の方向性	⑧声を集める	⑩まちづくり団体の交流会の開催	④学校にも情報提供する	④西脇市の良いところを市民に見つけてもらう
リーダーへ向けての意識づけ、まちづくり活動に必要なスキルの習得、参加者のモチベーションアップ など	⑨目安箱の設置	⑦他の地域のイベントにボランティア参加		
	⑩SNSの活用			
	⑪市民と市職員の交換日記			

↑

施策のターゲット	施策展開のテーマ			
	交流・連携	情報発信	こども・親子	コミュニケーション
③まちづくり活動の予備軍（何かおかしい、何か必要と、うすうす感じているが、どうしたらいいかわからない人）	①市役所をもう一段階開けた場所にする ③参画に対してのイメージを変える、負担感を減らす ④西脇大会議（しゃべり場） ⑤あったらいいな、こうならいいなの希望的観測会	⑯普段と逆の状況となる、職員が市民に相談をするイベントの開催 ⑦市民が市に対する不満や悩みを伝える会の開催 ⑱何万人以上の声を集めると実現しますというアクションのようなイベントを開催する ⑳全地区の若年層が交流できる機会の提供	①市民のまちづくり活動の一覧を載せる ②まちづくり団体の活動を市広報に載せる ③市民グループのイベントを市広報や防災無線でアピールする ④学校にも情報提供する	①地域のこども会を活性化 ②気軽にまちづくりに関する相談ができる公式ラインの開設 ④西脇市の良いところを市民に見つけてもらう ③企画から参加できるイベントを地域で開催 ④理想の西脇市を親子で考えるイベントの開催
施策の方向性	⑩SNSの活用	㉔楽しいイベントへの誘い合い	⑤校区外の交流を増やす	⑤市全体で同年代のこども同士や親子のつながりをつくるイベントの開催
活動開始の意識づけ、活動開始のために必要な情報提供 など	⑫ラジオ番組の開始	⑦他の地域のイベントにボランティア参加	⑥「まちづくりのとびらをあけてみたら」をどれくらいの人が認知しているかを検証する	⑥子育て中（乳幼児）の人がどのように過ごしているのかを参考にする
	⑬知り合いリレー（テーマを設け、市民一人ひとりにつなげていく）	㉔ゆるい形での意見交換の場	⑦地域自治協議会の活動紹介動画を作る	
	⑮学校へ市職員が出張し、子どもや教員、保護者を巻き込んだスクールを開催する	㉔井戸端会議の実施		

↑

施策のターゲット	施策展開のテーマ			
	交流・連携	情報発信	こども・親子	コミュニケーション
④まちづくりの未認識者（まちづくりの意義や必要性などに気づいていない人）	④西脇大会議（しゃべり場） ⑤あったらいいな、こうならいいなの希望的観測会 ⑦子ども達が行政に興味を持てるような仕組み ⑩SNSの活用	㉔ゆるい形での意見交換の場 ㉔井戸端会議の実施	①市民のまちづくり活動の一覧を載せる ②まちづくり団体の活動を市広報に載せる ③市民グループのイベントを市広報や防災無線でアピールする ④学校にも情報提供する	①地域のこども会を活性化 ④西脇市の良いところを市民に見つけてもらう ②こどもが参加したくなるイベントを地域で開催 ③企画から参加できるイベントを地域で開催 ④理想の西脇市を親子で考えるイベントの開催
施策の方向性	⑮学校へ市職員が出張し、子どもや教員、保護者を巻き込んだスクールを開催する		⑤校区外の交流を増やす	⑤市全体で同年代のこども同士や親子のつながりをつくるイベントの開催
まちづくりの意義や楽しさなどの情報提供と意識づけ など	⑱何万人以上の声を集めると実現しますというアクションのようなイベントを開催する		⑥「まちづくりのとびらをあけてみたら」をどれくらいの人が認知しているかを検証する	
	⑳全地区の若年層が交流できる機会の提供		⑦地域自治協議会の活動紹介動画を作る	
	㉔楽しいイベントへの誘い合い			

施策展開のテーマ					
施策のターゲット	運営支援	まちづくりを楽しむ	地域とつながる	行政との協働	その他
①まちづくり活動のリーダー（団体目線）	①ふるさと納税をまちづくり団体に分配 ②地域自治協議会の運営セミナーの開催	④まちづくり活動に携わる方の賞（まちづくりアワード）をつくる		①市職員や市議のまちづくり団体への出向	①プライバシーの尊重も大事だが、個人情報の把握もいざというときの為には大切である ②イベント参加や広報に協力してくれた方に記念品をプレゼントし、同じ想いを持った方の見える化を行う
施策の方向性	③西脇市のまちづくり方針の発表会				
専門知識等のさらなる充実、団体の運営、参加者や予備軍、未認識者を巻き込む方法の習得など	④市内全地区で地域自治協議会ができるよう設立支援を行う				

↑

施策展開のテーマ					
施策のターゲット	運営支援	まちづくりを楽しむ	地域とつながる	行政との協働	その他
②まちづくり活動の参加者（個人目線）	③西脇市のまちづくり方針の発表会 ④市内全地区で地域自治協議会ができるよう設立支援を行う	①まちづくりポイントカードをつくり、まちづくり活動で貯まるポイントに応じ特典を与える ④まちづくり活動に携わる方の賞（まちづくりアワード）をつくる ⑤まちづくり活動に何人誘ったかを競う			②イベント参加や広報に協力してくれた方に記念品をプレゼントし、同じ想いを持った方の見える化を行う ④連携を深めていくには、市民の声を集めることが大切である
施策の方向性		⑥「まちづくりのとびらをあけてみたら」を活用した啓発資材（年齢やシーン別）を作成（まちづくりに関する気運の醸成）			
リーダーへ向けての意識づけ、まちづくり活動に必要なスキルの習得、参加者のモチベーションアップ など					

↑

施策展開のテーマ					
施策のターゲット	運営支援	まちづくりを楽しむ	地域とつながる	行政との協働	その他
③まちづくり活動の予備軍（何かおかしい、何か必要と、うすうす感じているが、どうしたらいいかわからない人）	③西脇市のまちづくり方針の発表会 ⑤学校の授業等で主体的まちづくり教育を行う	①まちづくりポイントカードをつくり、まちづくり活動で貯まるポイントに応じ特典を与える ②参画と協働のまちづくりのキャッチコピーを考える ③この行事がまちづくり活動だと伝えるためのもの（シールなど）を配る ⑥「まちづくりのとびらをあけてみたら」を活用した啓発資材（年齢やシーン別）を作成（まちづくりに関する気運の醸成）	①飲食店で耳にする愚痴や井戸端会議レベルの会話に対しても相談できる窓口や店をつくる ⑤花いっぱい運動や溝普請などの地域活動の目的を清掃活動のみに留めず、交流できるような要素を加える		③市民と行政が連携していくには、お互いの苦手な部分を共有し、その苦手な部分に対し、連携して取り組むことが面白いと感じてもらえるアプローチを行政が行う必要がある ④連携を深めていくには、市民の声を集めることが大切である
施策の方向性					
活動開始の意識づけ、活動開始のために必要な情報提供 など					

↑

施策展開のテーマ					
施策のターゲット	運営支援	まちづくりを楽しむ	地域とつながる	行政との協働	その他
④まちづくりの未認識者（まちづくりの意義や必要性などに気づいていない人）	⑤学校の授業等で主体的まちづくり教育を行う	①まちづくりポイントカードをつくり、まちづくり活動で貯まるポイントに応じ特典を与える ②参画と協働のまちづくりのキャッチコピーを考える ③この行事がまちづくり活動だと伝えるためのもの（シールなど）を配る ⑥「まちづくりのとびらをあけてみたら」を活用した啓発資材（年齢やシーン別）を作成（まちづくりに関する気運の醸成）	①飲食店で耳にする愚痴や井戸端会議レベルの会話に対しても相談できる窓口や店をつくる ②地域の方が見守ってくれるような関係をつくる ③顔見知りになる ④「こんにちは」という挨拶のほか、「困ったことはない？」という言葉で挨拶にする		③市民と行政が連携していくには、お互いの苦手な部分を共有し、その苦手な部分に対し、連携して取り組むことが面白いと感じてもらえるアプローチを行政が行う必要がある
施策の方向性					
まちづくりの意義や楽しさなどの情報提供と意識づけ など					